

〈別紙〉

りんご輸出チャレンジャー報告（氏名吹田 満）

プロフィール	私は、りんごづくりを始めて40年目となる農家の三代目で、現在、息子と一緒にりんご農家を営んでおります。どうしたら美味しいりんごを作れるか、どうしたら経費を削減できるかなど、これまで色々と模索してきました。そして、約20年前から、ジュースの加工場を作って六次産業化に取り組み、すそもの（加工用りんご）の販売単価を上げ、所得の向上を図ってきました。
経営の特徴	当農園では、加工場から出たりんごの絞り粕を使った堆肥を使って、りんご園の土づくりを行っています。また、薬剤散布の回数をできるだけ少なくし、除草剤を一切使用しない、安全・安心なりんごを作っています。
輸出取り組みの抱負	中山間地域で生産された固くて美味しいりんごを、海外の方々に知っていただきたいと考えています。
現在の作業状況	今年も美味しいりんごを作るため、日光が樹冠内に入るように、頑張って剪定しています。
今年のにんごの作柄	例年より開花が早く、大玉傾向で、収量は前年対比120%以上あり豊作でした。11月初めの低気圧の風で、多少落果や傷害果が見られ、収穫の遅かった園地ではつる割れも見られたものの、総じて、蜜の量も多く、糖度も十分に美味しいりんごに仕上がりました。